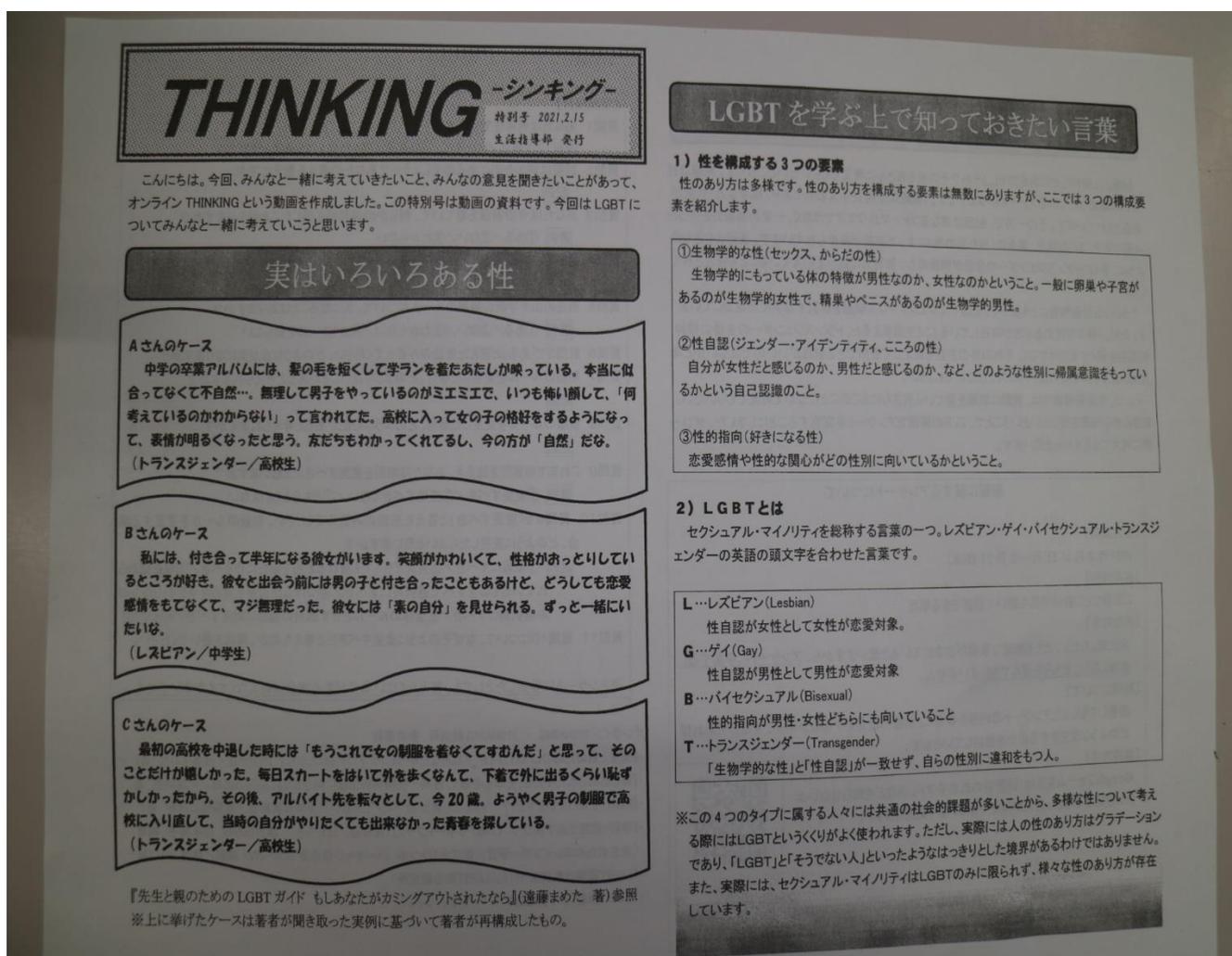


「性」について、「制服」について考える。

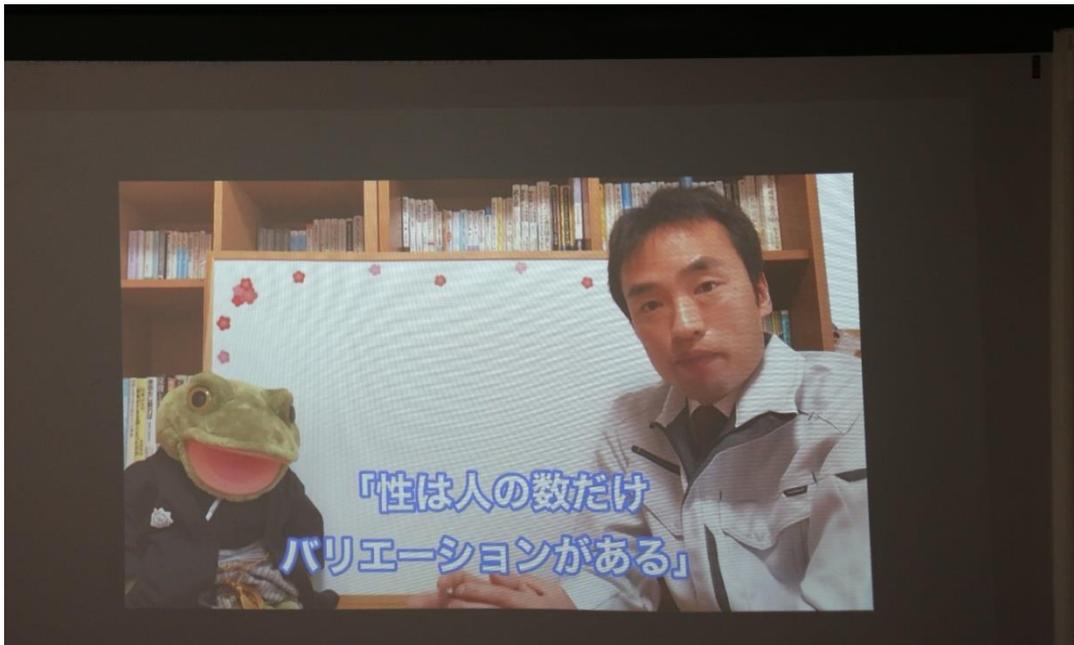
山手学院生活指導部は、生徒が自分たちの生活について主体的に考えることを第一として指導しています。これまでもスマホやネットの使い方について全校生徒で議論し、「山手学院ソーシャルメディアポリシー&携帯・スマホマナー」を制定したり、学校指定セーターも有志の生徒諸君が考えて作ってきました。

一人一人の個性を尊重すること。これは人権という観点でとても大切なことです。この度は、「多様な性」を理解し、そこから「制服」のルールについて考えるためのアンケート調査を全校で行いました。

下の写真は毎月発行している生活指導部の「THINKING」ですが、



今回は「オンライン THINKING」として、生活指導部長が「蛙のげろぎえもん」とともに「LGBT」について解説する動画を作成しました。それを視聴し、資料を詠んだうえで、後から制服のルールについてのアンケートのフォームに答える、という試みを行いました。



制服は学校を象徴するユニフォームであり、大切なフォーマルウェアです。だからこそ、みんなが苦しい思いをすることなく着用できるよう、一人一人の問題として考えていくことが必要です。

山手学院の制服をみんなで考える

制服とは何のためにあるのでしょうか？その点も皆さんに考えてもらいたいところです。制服は社会的に認められているフォーマルウェアです。「制服は教材」とも言われており、様々な力・効果があるとされています。その一方で、制服は単なるフォーマルウェアではなく、一定の強制力を持った衣服であり、多くの場合、男女の「見た目の性」によって服装が決められています。表面のCさんのように、多くのトランスジェンダーの生徒が制服のもつ強制力に悩みを抱えていることも報告されています。

そういった社会情勢ともなって、全国ではジェンダーレス制服を検討する学校が増加しています。ただ、「様々な性のあり方が存在している」ことを踏まえると、トランスジェンダーの生徒の精神的負担を軽くするだけでなく、それ以外の生徒も満足して着用できる制服がいいのではないかと考えています。大切なのはバランスではないでしょうか。

そこで、生活指導部では、実際に制服を着ている皆さんにもこのことについて考えてもらいたい、皆さんから知恵を借りたいということで、以下の要領でアンケートを実施することにしました。ぜひ一緒に考えてもらえたらと思います。

